

令和 6 年度

事業報告書

社会福祉法人 咲福社会

自：令和 6 年 4 月 1 日

至：令和 7 年 3 月 31 日

令和 6 年度事業報告

事業の概要

【 社会福祉事業 】

1, 第一種社会福祉事業

なし

2, 第二種社会福祉事業

- ◇ 就労継続支援 B 型事業「街なか作業所につこにつこ倶楽部」
- ◇ 就労継続支援 B 型事業「につこにつこファクトリー」
- ◇ 共同生活援助（グループホーム日和）「ホームかたくり」

【 公益事業 】

- ◇ 地域生活支援事業（桐生市日中一時支援事業）

【 収益事業 】

なし

※ 今年度は、中期経営計画（令和 4 年度～6 年度）の最終年度となり、目標とした「高める」「創る」「変える」を念頭に、財務・人事・事業所及び支援体制の再構築・ニーズに応える新事業の検討など、従来の枠組みや考え方にとらわれない、次につなげる基盤と組織作りに力を注ぎました。

事業状況（総括）

障害福祉サービスを開始して 11 年、社会福祉法人として 6 年が経過した本年度は、大きく変わる社会の変化と大きく変わらなければ弱体化するという危機感を払拭し対処するために、従来の仕組みや考え方に変化をもたらし自律的な人・組織・地域社会への変革を考え、これからの基盤の安定化と成長を図る努力をしました。

また、この 3 年間の中期計画を目標に、各事業所は「より利用したくなる事業所作り」、そして、法人全体では「より高く」「より良く」を合言葉に、大きく変容している福祉ニーズと最良のサービスを模索しながら前向きな行動を実践してきました。

具体的に各事業所においては、社会学習や事業所内相談支援の継続実施、公式ライン（連絡事項などの発信）の開始、コミュニケーションや社会性の向上を目的とした e スポーツの導入など、利用者ニーズを把握し利用したくなる事業所作りに邁進し、法人は、持続可能な組織体制を構築するための人材の入替と育成、各事業所の環境整備、職員の資質向上と意識改革等の体制づくりをすすめてきました。

そして、次年度につなげる事業計画として、相談支援事業所の開設準備・にっこにっこ倶楽部のバリアフリー化とカフェの見直し・新事業所開設用の土地購入計画・にっこにっこファクトリーの作業室増築計画など、今後ますます多様化する福祉ニーズと激変する社会環境に対応するための、積極的な事業計画に向かって着実に前向きに活動してきました。

社会福祉法人を取り巻く環境は、制度改革、少子高齢化、労働力不足、地域共生社会の推進、そして経済的制約など、非常に厳しくまた変化の激しい状況にあります。こうした背景を踏まえ、今後進むべき方向性として、(1)制度改革・経済情勢の背景把握、(2)地域との連携強化、(3)公益的な取組と取組の可視化、(4)働き方改革による人材確保と育成、(5)経営基盤の強化など、ますます「地域共生」と「持続可能な経営」の両立が求められるとともに、地域を支える社会インフラの一翼を担う存在になることが期待されています。

これらを実現するためには、社会的使命を果たしつつ、大きな変化に対応できる柔軟かつ着実な実行力が必要であり、引き続き全員が持てる力を十分発揮し益々努力していかねばならないと考えています。

法人役員・評議員

【役員、評議員】(令和7年3月31日現在)

役 員	定数	氏 名
理事	7	松島肇(理事長)、星野征孝(副理事長)、徳江剛、武藤光政 塩崎玲子、関口裕、松島弘平
監事	2	小倉基、森口恒雄
評議員	8	湯浅正雄、今泉登志子、小倉秀明、安田節治、石原浩子 小倉一、長田健一、板橋清一

理事会・評議員会開催状況

【理事会】

第25回 (定足数：理事 6/6、監事 2/2)

- 令和6年5月28日(火)
- ① 令和5年度事業報告と補正予算及び令和5年度決算
関係書類と会計監査について
 - ② 役員改選について
 - ③ 定時評議員会の招集について
 - ④ 給与規定の改定について

第26回 (定足数：理事 5/6、監事 2/2)

- 令和6年6月14日(金)
- ① 理事長・副理事長の選任について
 - ② 定款の変更と役員等の報酬規程の改定及び顧問の選
任について

第27回 (定足数：理事 6/6、監事 2/2)

- 令和6年12月12日(木)
- ① 評議員選任・解任委員の選定について
 - ② 常勤理事の選定及び評議員の新任について
 - ③ 相談支援事業所の設置について
 - ④ 管理者の選定について
 - ⑤ 補正予算について
 - ⑥ 運営規定の改定について

第28回 (定足数：理事 7/7、監事 2/2)

- 令和7年3月26日(水)
- ① 中期事業計画及び令和7年度事業計画について
 - ② 令和6年度補正予算及び令和7年度予算案について
 - ③ 定款の変更について
 - ④ 規程改定について
 - ⑤ 評議員会の書面決議について

【 評議員会 】

第 9 回 （定足数：評議員 7/7、監事 2/2）

- 令和 6 年 6 月 14 日(金)
- ① 令和 5 年度決算書類及び財産目録の承認について
 - ② 役員改選に伴う理事・監事の選任について
 - ③ 定款の変更及び役員等の報酬規程の改定と顧問の選任について

第 10 回 （定足数：評議員 6/7、監事 2/2）

- 令和 6 年 12 月 12 日(木)
- ① 評議員選任・解任委員の承認について
 - ② 常勤理事の承認及び評議員の新任について
 - ③ 相談支援事業所の設置について
 - ④ 管理者の承認について
 - ⑤ 補正予算について
 - ⑥ 運営規定の改正について

内部監査結果

令和 7 年 5 月 20 日（火）に当法人の監事による令和 6 年度事業報告及び決算諸表の監査を実施しました

外部検査結果

令和 7 年 2 月 4 日（火）、みどり市による令和 6 年度指導検査を受けました

<文書指摘事項>

	指摘事項	是正改善措置
1	登記簿謄本（履歴事項全部証明書）に収益事業の登記がされていない	令和 7 年 3 月 28 日の定款変更により収益事業を削除
2	理事会及び評議員会について適正な手順で実施すること	定款に基づき適切に処理する

上記指摘を繰り返さないよう、組織的な管理運営を行っていきます

経営状況について

1, 計画の達成状況

「令和6年度事業計画」

【重点目標に対する評価】 評価：できた○、だいたいできた△、できなかった×

年間計画	取り組み	評価
利用者本位の支援の実践	本人の意思を尊重した中での就労支援の提供	○
	適切な個別支援計画の作成と実行	○
組織の安定化	具体性を持った人材育成の強化と職員配置	○
	事業所の各部門における目的の明確化	△
デジタル化の推進	ICTの目的理解の推進とICT導入の拡充	△
地域貢献	継続した委託事業への取組	○
	地域のコミュニティへの参加とニーズへの取組	△

「令和4年～6年度 中期計画」

【重点目標に対する評価】 評価：できた○、推進中△、できなかった×

中期計画	取り組み	評価
高める	財務管理、人事管理の体制づくり	○
	生産活動や支援活動の向上	△
創る	日中活動の場、働く場、住まいの場の拡充	△
	福祉サービスと支援の在り方を考える	△
変える	従来の枠組みや考え方にとらわれない地域福祉のイノベーションを追求する	×
	職員が変わろうと変えようを意識して、大きく変化しているこの先の福祉施設を構築する	△

2, 借入状況

【法人借入金償還状況】 ※元金のみ（単位：千円）

借入先	当初借入額	償還済額	当期返済額	借入残額	備考
桐生信用金庫	35,000	7,791	1,764	27,209	ホームかたくり
足利銀行	49,741	19,278	943	30,463	ファクトリー
群馬銀行	10,000	0	0	10,000	運転資金
福祉医療機構	10,000	0	0	10,000	倶楽部コロナ
福祉医療機構	8,500	0	0	8,500	ファクトリーコロナ
合 計	113,241	27,069	2,707	86,172	

(借入残高:前年比+6,701)

3、収支状況

【法人全体の収支】前年対比（詳細は別紙、事業活動計算書の通り）

障害福祉サービス等事業収益は 10,261,587 円増加の 105,531,276 円

就労支援事業収益は▲91,694 円減少の 11,002,968 円となりました。

また、主な支出であるサービス活動費用の人件費は 6,094,472 円増加の 77,344,695 円

就労支援事業費用は 124,852 円増加の 12,468,688 円となりました。

人件費において、主に退職金支払い、そして昇給等により前年比は大幅に増加したものの、障害福祉サービス等事業収入が、報酬改定や各事業所の努力により大きく増加したことにより、最終利益である当期活動増減差額は 1,923,962 円増加の 1,935,779 円となった。

主な要因として

- (1) 障害福祉サービス等事業収入において、各事業所ともに経営計画に掲げた、「利用者本位の支援の実践」により、利用者一人一人に合わせた支援として、本人の意思を尊重した就労支援の実践や社会学習・事業所内相談支援・施設外支援などを積極的に行っており、にっこにっこ倶楽部・にっこにっこファクトリーともに、年間延べ利用者数が増加し前年比 372 人のプラスとなりました。また、処遇改善手当や工賃向上等による制度の改定も収入増加につながった。
- (2) 就労支援事業収入は、不安定な経済状況下で諸経費・仕入れ価格の高騰などが影響しており、下請け先からの仕事においては年間を通して波があり、各事業所共に収入は減少したが受注は継続できている。そして、各事業所で新たな施設外支援も実施しており、今後の収入増加に期待が持てる。また自主事業である菓子製造事業においては、イベントの参加や新商品の開発販売など努力したが、現状維持ができなく前年比で減少した。もう一つの自主事業である農業収入では、米価価格の高騰などにより増収となった。このような結果として就労支援事業収入全体ではほぼ前年対比微増となった。
- (3) 費用の約 70%を占める人件費においては、前年比 6,094,472 円（8.6%）の増加となったが、新たな組織体制を構築するため人材の入替による退職金の支払いと、職員の資質向上及び意識改革のための昇給など計画に沿ったものである。

以上のように、社会環境、福祉環境は益々厳しさが増しており、当法人の経営状況にも大きく影響がある中、令和 6 年度も各事業所がそれぞれの持ち味を生かし、管理者を中心に職員そして利用者が一段と努力した一年でした。

職員の状況

【 職員配置状況 】（常勤換算による人員）（ ）兼務

	管理者・ サビ管	生活支援員	職業指導員	就労支援員	目標工賃達成 指導員	世話人	夜間支 援員	合 計
にっこにっこ倶楽部	1	1.6	4.5	0	1	0	0	8.1
カ ファクトリー	1	2.7	2.4	0	1	0	0	7.1
ホームかたくり	(1)	0.6	0	0	0	1.5	1.0	3.1
合計	2	4.9	6.9	0	2	1.5	1.0	18.3

【 資格等の取得状況 】（非常勤職員除く、複数の資格を持つ職員もいます）

	社会福祉士	介護福祉士	社会福祉主事	介護職員初任者 (ヘルパー1・2)	福環コーディ ネーター2	福祉用具専門 相談員
にっこにっこ倶楽部	0	2	2	3	1	1
カ ファクトリー	0	2	2	4	0	0
ホームかたくり	0	0	0	0	0	0
合計	0	4	4	7	1	1

【 職員状況 】（正社員：中途者2名・退職者2名を除く）

年度	人員(男女)	平均勤続年数	平均年齢	平均月収
令和6年	12人(6/6)	6年7か月	50.4歳	304,108円

（パート・世話人・夜間支援者）

年度	人員(男女)	平均勤続年数	平均年齢	平均月収
令和6年	8人(2/6)	4年5か月	63.1歳	118,357円

【 人件費率 】

73.3%

利用者の状況

【 定員及び現員 】(令和 7 年 3 月 31 日現在)

にっこにっこ倶楽部		にっこにっこファクトリー		ホームかたくり		合 計	
定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
25	27	20	33	6	6	51	66

【 利用状況 】

利用率 (令和 7 年 3 月)

にっこにっこ倶楽部	にっこにっこファクトリー	ホームかたくり	合 計
83.2%(20.8 人)	110%(22 人)	100%(6 人)	95.7%(48.8 人)

年間利用状況

施設名	延べ利用者数	営業日数	1日平均利用者数	利用率
にっこにっこ倶楽部	5,890 人	252 日	23.3 人	93.2%
〃 ファクトリー	5,477 人	251 日	21.8 人	109%
ホームかたくり	2,116 人	364 日	5.8 人	97%
合 計	13,483 人	—	—	—

【 年齢別状況 】

街なか作業所 にっこにっこ倶楽部 (現員 27 名)

	17 歳～ 25 歳	26 歳～ 30 歳	31 歳～ 40 歳	41 歳～ 50 歳	51 歳～ 60 歳	61 歳～ 70 歳	71 歳 以上	合計	平均 年齢
男 性	4	7	1	3	5	0	1	21	38.0
女 性	2	1	1	0	2	0	0	6	36.7
総 数	6	8	2	3	7	0	1	27	37.7

にっこにっこファクトリー (現員 33 名)

	18 歳～ 25 歳	26 歳～ 30 歳	31 歳～ 40 歳	41 歳～ 50 歳	51 歳～ 60 歳	61 歳～ 70 歳	71 歳 以上	合計	平均 年齢
男 性	5	4	3	2	5	2	0	21	38.7
女 性	4	0	3	2	2	1	0	12	37.8
総 数	9	4	6	4	7	3	0	33	38.4

ホームかたくり（現員6名）

	18歳～ 25歳	26歳～ 30歳	31歳～ 40歳	41歳～ 50歳	51歳～ 60歳	61歳～ 70歳	71歳 以上	合計	平均 年齢
男性	0	0	2	2	2	0	0	6	45.0
女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	0	0	3	1	2	0	0	6	45.0

行事報告(研修他)

【 行事 】

事業報告会を従来通り対面で実施予定であったが、社会ニーズを鑑み書面による報告で対応した。

【 研修 】

1，職場内研修は、各事業所が必要と思われる研修を取り上げ、年間計画により実施した。

にっこにっこ倶楽部

開催月	研修内容	開催月	研修内容
4月	施設職員としての基本姿勢	10月	インフルエンザ
5月	感染症(新型コロナ、ノロウイルス等)	11月	SST(社会生活スキル・トレーニング)
6月	事故対応（ヒヤリハット）	12月	ストレスマネジメント
7月	統合失調症	7/1月	強度行動障害
8月	業務のレベルアップ（チームワーク）	2月	障害者虐待防止
9月	自閉症スペクトラム	3月	意思決定支援(権利擁護)

にっこにっこファクトリー

開催月	研修内容	開催月	研修内容
4月	施設職員としての基本姿勢	10月	事故発生時の対応（ヒヤリハット）
5月	事業継続計画への取り組み	11月	苦情解決
6月	障がい者虐待防止	12月	感染症対策
7月	意思決定支援	7/1月	障がい者虐待防止
8月	発達障害	2月	職場におけるハラスメント
9月	身体拘束等の適正化	3月	福祉のコンプライアンス

(1) 新規採用者に対しては、随時、「障害者支援の基本姿勢」についての内部研修を実施している。

(2) 各種委員会の実施状況

開催月	主催	研修会名	参加人数
7/2 月	咲福祉会本部	虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会	5 名

2、外部研修は、職員のスキルに合わせた研修と、職員自ら必要と思う研修を主体的に希望し参加している。

開催月	主催	研修会名	参加人数
6/4 月	群馬県知的障害者福祉協会	令和 6 年度初任者研修	1 名
6 月	社会福祉法人はるな郷	前橋刑務所・検察庁見学会	1 名
6 月	群馬県勤労福祉センター	精神保健福祉初任者研修	1 名
6 月	群馬県障害者権利擁護センター	「虐待防止研修」支援研修会	1 名
8 月	群馬県知的障害者福祉協会	夏季特別研修会	2 名
9 月	群馬県安全運転管理協会	安全運転管理者等講習	1 名
10 月	群馬県	発達障害支援者養成研修会	1 名
11 月	群馬県知的障害者福祉協会	研究発表会	2 名
11 月	社会福祉法人三和会さんわ	就労ステップアップセミナー	1 名
7/1 月	群馬県	障害者の性や恋愛・結婚等についてのシンポジウム	1 名
1 月	群馬県社会福祉総合センター	令和 6 年度工賃向上研修会	1 名
1 月	群馬県知的障害者福祉協会	令和 6 年度市町村社協トップセミナー	1 名
1 月	日本セルフセンター	工賃向上研修会「伝達研修」	1 名
2 月	桐生地区農業指導センター	菌ちゃん農法による無農薬野菜づくり講座	3 名
3 月	しののめ信用金庫	主要補助金等に関するオンラインセミナー	1 名
3 月	福祉サービス運営適正化委員会	令和 6 年度福祉サービス苦情解決セミナー	1 名

各事業所の状況

【 街なか作業所 にっこにっこ倶楽部 】

就労継続支援B型事業所 定員 25 名

平成 25 年 12 月開所

1. 1 年を振り返って

25 名定員のところ、29 名在籍（実質 27 名利用）でスタートし、1 名ずつの増減があり、11 月には再び同じ人数に戻っています。利用率としては、年間の月平均は 23.4 名、93.5%でした。総利用者数は 5890 人でした。今年度は出入りが少なく、精神疾患の方の見学、体験は 10 名あったのですが、利用に至るケースが 1 名にとどまってしまう、更に 3 月に就職して、退所となった利用者もいて、新規の獲得を急がなくてはならない状況です。

作業面では、工夫を凝らし、行なう作業がないようなことがないようにし、農作業、カフェ、下請け作業をしっかりと行なうことが出来ていました。

今年度、就職者が 1 名しかいませんでしたが、今後は就労やステップアップ出来る方を出せるよう支援していきたいと思います。

2. 利用者状況

定 員	25 名
現 員（契約者数）	27 名（29 名）
利用率 年間平均	94.0% （平均利用者数 23.4 人）

3. 平均工賃

平均工賃額	令和 6 年度	11,770 円
	令和 5 年度	12,292 円
	令和 4 年度	10,541 円
平均工賃目標額	令和 7 年度	12,800 円
	令和 6 年度	12,800 円
	令和 5 年度	12,000 円
	令和 4 年度	11,000 円

平均工賃額は前年度に比べ、昨年度は算出方法も変わり、アップしたのですが、今年度は 522 円ダウンし、目標額をクリアすることが出来ませんでした。そのため、来年度の平均工賃目標額は、同額の 12,800 円としています。

4. 就労収入 売り上げ

- 実施作業 (1) 農作業 安心安全な野菜作り（塩原圃場、東町花輪圃場、市民農園管理） *手作りのボカシ肥料を用いた農法
- (2) カフェ（喫茶、野菜乾燥品、弁当作り、食品梱包他）
- (3) 軽作業（下請け）①自動車部品組立
- ②食品梱包（スティックコーヒー他）
- ③自動車関係梱包
- ④菓子折り箱作成

令和6年度

活動収入 6,308,884円

※令和5年度 6,062,043円

5. その他

年度末になってから、新たな取り組みとして始めたことが、福祉の世界でも、身近になってきているeスポーツです。いまはまだ、お試し中で「eスポーツ体験」という形で興味のある利用者と週一回1時間4~6名で2種類のゲームに挑戦中です。レクリエーションではなく、「社会学習」として行なっています。どのように取り入れていくか、形を作っているところです。お互いに高めあったり、上達したり、相手に勝つことで自信に繋がれたと思っています。今後は、レベルを上げて、大会にも参加できるようスキルアップしていきたいと思っています。

令和5年にコロナウイルスが5類になり、通常な生活に戻りつつあるものの、まだ油断できない状況からマスクの着用は継続し、予防を心がけてきました。ほとんど感染することなく、過ごせていましたが、3月に入り、利用者9名、職員3名がコロナに感染しました。タイミングがずれている方も含めた人数なので9名全員が集団感染したわけではないのですが、改めて換気、除菌、手洗い、マスクの着用等の感染対策の徹底が重要だと実感させられました。感染力が以前程強くない、重度化しないと言われていますが、しっかりしていかなければいけない、繰り返すことがないようにしていきたいと思います。

農業の方では、昨年より「認定農業者」に認定されたり、市民農園の管理を任されたりして、今まで以上にしっかりと取り組んできましたが、天候、病気、害虫、動物の被害等により野菜の収穫量がかわり、さらに、野菜の価格設定にも苦労しました。令和7年度は、お米作りを行なっていく予定で、準備を進めています。お花栽培のニキフルールへの施設外就労も継続して行っています。

利用者間の関係としては、大きなトラブルもなく、にっこにっこ倶楽部の売りである安心笑顔の実践がこの一年も出来ました。

毎年、ペースはまちまちですが、利用者個々の成長は実感しています。作業効率のアップ、自ら気付いて準備や片付けをしたり、コミュニケーションがとてもスムーズに出来るようになったり、意欲が出てきて取り組む姿勢が変わってきたり、集中力が付いてきたり、継続してやり続けることが出来るようになったりと多くの方の成長は何より支援者の遣り甲斐につながります。今年度も多くの方の前進する姿を見たいです。また、具体的な目標としては、ひとりでもいいので、就職する方、ステップアップして、移行事業所やA型事業所へ送り出していけたらと思っています。

今年度も、多くの安心笑顔を観たいです。みなさんの良さを引き出していきたいと思います。

本年度もレクリエーションは、通常のかたちではありませんでしたが、みんなが楽しめて、気に入っているボッチャやゲームをプロジェクターで拡大し、運動を楽しく行い、日頃の運動不足を解消したり、カラオケボックスにも5年ぶりに行き、楽しんで来ました。多くの利用者が好きな歌を思い切り歌う機会が持ててなによりでした。

また、レクとは別に、9月の県障害者スポーツ大会の参加（悪天候で中止）や野菜等の販売を介護施設のイベント等に参加させていただき、地域交流も行なうことが出来ました。

【にっこにっこファクトリー】

就労継続支援B型事業 定員 20名 契約者数 33名 (R7.3.31)

1. 令和6年度の利用状況・作業売上等は別表の通りとなる。

令和6年度 にっこにっこファクトリー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	平均/月	平均/日
開所日	22	22	20	23	18	21	23	21	20	20	20	21			
利用数	463	477	457	502	359	455	509	480	449	425	441	461	5478	456.5	21.8247012
利用率%	105	108	114	109	99.7	108	111	114	112	106	110	110	109.1		
欠席率%	16.2	15.1	11	15.1	21.6	11.5	16.1	13.9	13.1	17.7	14.2	15.2	180.7	15.058	

※令和5年度 5,148人 (利用総数) 102.5% (利用率) 429人 20.5人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	総額
給付費	3,629,579	4,092,277	3,771,800	4,149,351	2,972,284	3,774,081	45,363,433
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
給付費	4,225,360	3,981,339	3,721,841	3,539,340	3,660,081	3,846,100	

※令和5年度 38,269,968円

総額

下請け軽作業・年間売上金額	1,477,655	4,956,006	軽作業前年度1,406,969円 菓子前年度3,943,070円
ジャム・菓子製造販売・年間売上金額	3,478,351		

※令和5年度5,350,039円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	総額	平均工賃
工賃額	246,036	253,778	244,670	259,404	198,149	246,012	2,958,551	11,094
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		7年度目標工賃
工賃額	268,927	262,895	249,010	236,505	244,575	248,590		12,000

※令和5年度 2,712,230円 平均工賃11,025

2. ファクトリー活動内容

- ① 作業 (厨房作業・軽作業)
- ② 社会学習 (SST・グループ談話・ぐるーぷわーく・個別学習)
- ③ 事業所内相談支援
- ④ 利用者さん向け勉強会 (苦情受付・感染症・虐待防止法)
- ⑤ 事業所イベント (ボーリング大会・クリスマス会他)

3. 作業（厨房作業・軽作業）

① 厨房作業（ジャム・菓子製造・包装・販売）

物価高騰（材料費等）に伴い、ふあくと商品の販売価格見直しを行う。一部商品
を値上げとしたが、今年度は売上減収となり苦戦している状況である。

（課題）

- ・ お客様が、値上げにより離れて行ってしまうことをいかに対策するか。
 - ・ 店舗への集客力を高めるための方策。
- 販売・受注増に向けての方策。

② 軽作業（宮原合成・クリエイトフューチャー・ヒノデ産業・太陽印刷）

年間を通して、安定した作業量を確保することができる。

（課題）

- ・ 高度な技術を要求されるも、単価が低い作業あり。職員1名がかかりきりとなって
担当しなければならぬ作業となっており、請負作業の見直しも必要と考えている。

4. 工賃

別表の通り

5. その他

現状の契約利用者さんの利用率アップを考え事業所内相談支援を実施。聞き取った
調査結果をもとに、事業所としての課題と実現可能なことを見つけ出し、「より利用
したくなる事業所に」を目標として職員全員で検討、実行する取り組みを行った。
また、イベント、利用者さん勉強会、社会学習等の作業以外の活動も取り入れた。

令和7年度についても、当事業所を利用される利用者さんが、作業所生活を通して、
経験や生活の幅を広げ、豊かで充実した生活につながる支援を心がけるを基に実践に
努めていきたい。

【 ホームかたくり 】

共同生活援助（グループホーム）

令和 2 年 11 月開所

定員 6 名が利用し、大型連休の帰省以外は概ね、ホームで過ごされています。また、施設サービスにおける透明性や支援への質の確保を目的として、地域連携推進会議が本格義務化となるので、開催のための準備をしています。

年間の利用総数は 2,119 人、一日平均利用者数は、5.81 人となり、平均利用率は 96.8% になっています。障害福祉サービス等事業費収入は、13,657,725 円となっています。

	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	合計	平均利用日
開業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
A	30	29	27	31	27	30	31	28	28	27	28	27	343	28.6
B	30	29	30	31	28	30	31	30	28	27	28	31	353	29.4
C	30	29	30	31	28	30	31	30	28	27	28	31	353	29.4
D	30	30	30	31	27	30	31	30	28	27	28	31	353	29.4
E	30	29	30	31	28	30	31	29	28	27	28	31	352	29.3
F	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
合計	180	177	177	186	169	180	186	177	171	166	168	182	2119	176.6
平均利用人数	6.00	5.71	5.90	6.00	5.45	6.00	6.00	5.90	5.52	5.35	6.00	5.87	5.81	
給付費 (単位千円)	850	836	850	888	794	851	878	833	812	788	792	862	10,031	